

ほけんだより

令和7年1月17日
札幌市立中央中学校
保健室

いよいよ3学期が始まりました。短いけれど、大切な3学期。感染症に負ることなく、一日一日を大切に過ごしてください。



「感染症」を防ぐためには・・・基本を大切に！！

2学期は学級閉鎖をすることがなく無事終えることができましたが、感染症対策はこれからが本番です。3学期は入試や定期テストなど大事なことがありますので、かかるないように、また、かかっても早めに回復するようにしっかりと対策をたてましょう。

病原体がカラダに侵入する主な感染経路

飛沫感染



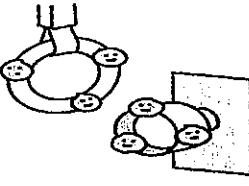
咳やくしゃみ、会話などで出た病原体を吸い込むことで感染。

空気感染(飛沫核感染)



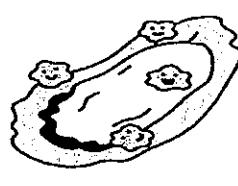
飛沫が乾燥して空気中に漂った病原体を吸い込むことで感染。

接触感染



病原体がついた場所を触り、手を介して口や鼻などから感染。

経口感染



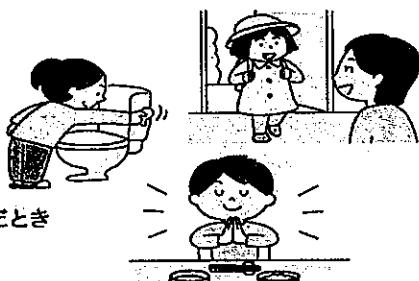
病原体がついた飲食物を加熱などせずに口にすることでの感染。

感染予防の基本は手先りです！

冬はインフルエンザやウイルス性胃腸炎などの感染症が流行する季節です。手のひらや指に細菌やウイルスがついた状態で、自分の目、鼻、口などの粘膜を触ってしまうと、感染症にかかる可能性があります。そのため、こまめに岩けんで手を洗うことが大切です。

●こんなときに手を洗おう！

- ・外から帰ってきたとき
- ・ごはんを食べる前
- ・トイレの後
- ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- ・共有のものを触ったとき



●手洗いのポイント

- ①石けんをしっかり泡立てる



- ③泡や汚れをしっかり洗い流す

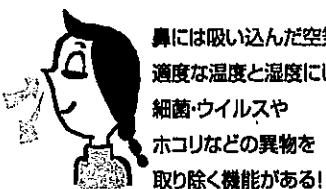


- ②手のすみずみまで洗う
(手のひら、手のこら、指と指の間、指先、つめの先、手首など)

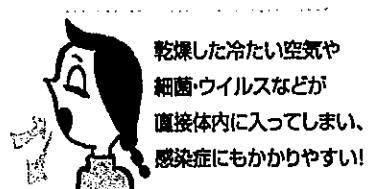


ちゃんと鼻呼吸していますか？

鼻呼吸の場合



口呼吸の場合



1人1人が予防を心がけるということが基本となります。しかし、症状のある人が周りの人へ配慮するということも大切です。家でしっかり休養することは勿論ですが、できる範囲でマスクをつけたりするなど、ちょっとした心づかいが必要です。



< 睡眠リズムを立て直そう >



冬休みが終わり、「睡眠リズム」の立て直しに苦労している人も多いのではないでしょうか？
学校生活を元気に送ることができるよう、自分の今の睡眠を見直してみましょう。

よい睡眠、とれていますか？

次の3つの観点から、あなたの睡眠を見直してみましょう！



翌日、眠気を感じる場合は、
睡眠時間が足りていません。
個人差はありますが、
中高生では8～10時間の確保が
推奨されています。
(厚生労働省「健康づくりのための
睡眠ガイド」より)



やっている人は多そうですが、
寝る直前までスマホを見るのは
睡眠の質を下げる原因になります。
量(睡眠時間)が不足することにも
つながるので絶対にやめましょう。



睡眠と覚醒のリズムは
体内時計によって調節されています。
このリズムが乱れないよう
朝起きたら日の光を浴びる、
朝食をきちんと食べるなどして
体内時計を整えることが大切です。



よい睡眠をしっかりととることで昼間活動的に過ごせるだけではなく、抵抗力がアップし、感染症にもかかりにくくなります。

生活を整えて、ケガを防ごう！！



冬のこの時季、登下校時に転倒して「ケガ」をしてしまうという人が毎年のようにみられます。雪や氷で滑りやすくなっている上、急いだり、慌てたりすることで転倒や事故にあう危険性が高くなります。特に朝の時間帯、時間に余裕をもって行動するということが大切です。

きむーい季節　事故やケガを予防するために



道路に氷や雪があると滑りやすい
いので、足元に注意して歩こう。
ポケットに手を入れて歩くと転ん
だとき大ケガのもと。手袋しよう。
体が硬いときの急な運動はケ
ガのもと。準備運動を入念に。

寒い季節も 姿勢よく 歩こう！



「上着も着ず、ポケットに手を入れて・・」という姿は本校の登下校でも見られます。「姿勢の悪さ」もケガや事故につながりますし、これに「スマホ」が加わればなおさらですよ。